

グローバル人材に定評

手厚い支援、人材育成を重視



製造業に特化した人材派遣ビジネスで業界をリードし、創業から63周年を迎えたパイオニアのフジアルテ(株)。創業の精神「人材には活躍の場を、企業には優れた技術力を提供する」を徹底し、半導体関連分野では、グループ全体で設計から製造エンジニアまで幅広く対応しているため、同社派遣人材の活躍のフィールドは広がり続けている。

電子デバイスの人材ビジネスでは30年強の実績を有し、特にグローバル人材では群を抜く。ブラジルに現地法人を設置し、日本での永住ビザを所有する日系ブラジル人を積極採用しており、今では在籍人材約1万人のうち、グローバル人材は60%（うち約85%

が日系ブラジル人）を占めるに至る。そのほか、ベトナム人やフィリピン人も在籍する。派遣先である各電子デバイスメーカーでの同社グローバル人材への評価は「勤勉で謙虚」「定着率が良い」など上々だ。勤続年数も20年以上の人材が多く、なかには35年に至る人も存在する。過疎化が進行し、人材確保に苦慮する

地方の製造拠点へ千人規模でグローバル人材を派遣するケースもあり、行政窓口や病院などでの外国人対応体制を自治体と連携して整備するなど手厚いサポートにも注力。グローバル人材採用コンサルタントを請け負うほどに至る。「人材育成」にも注力。人生哲学の真髄と評される稲盛

和夫氏のフィロソフィーに基づき、損得ではなく、善悪を基軸にする人格形成にこだわる。各人材に向き合う姿勢も重視しており、職場でのコンディショニングや相談事項を適宜把握および対応できるアプリケーションの導入や、各製造現場にメンターを配置して各人材と真摯に向き合う。ときには各自の能力に合わせたキャリアチェンジの提案も行っている。

人材採用は全国35カ所の営業・採用拠点で行い、採用人材の教育は全国7カ所（北上、浜松、安城、豊田、小牧、彦根、熊本）に設置する研修センターで実施。座学、安全教育、機械や電気保全など派遣先の製造現場に合わせた様々なカリキュラムを、1週間、1カ月半にわたり履修させる仕組みを構築している。研修センターは今後、関東方面での増設も視野に入れる。

またエンジニアには、九州工業大学や東北大学での、半導体関連メーカーの実機を伴う研修と一緒に参加・受講させる取り組みも実行。さらにハイエンド人材の育成では、エッジAI関連受託などを手がけるグループ会社「(株)シンコム」で、OJTを兼ねて実際の受託案件に携わるなど、業界に先行する取り組みを始めている。

半導体関連人材需要は今後とも健在とみて、人材ビジネスで年率10%成長(売上ベース)を目指していく。

